

西マシヨナランド州における現地メディア向けプレスツアー実施報告

10月30日から31日にかけて、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ・ラジオ5社6名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、ジンバブエ国民への情報発信を強化するためのものです。

プレス一行は、30日、首都ハラレから約100km離れた西マシヨナランド州チノイ市で、平成28年度無償資金協力「経済社会開発計画(アスファルト供与)」の引渡式の取材を行いました。また翌日31日には、西マシヨナランド州マコンデ郡で、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「マコンデ郡の教育機関における安全な水供給計画」の引渡式取材を行いました。

各々の引渡式の様子は、以下のサイトをご覧ください。

●平成28年度無償資金協力「経済社会開発計画(アスファルト供与)」引渡式の模様

リンク:<http://www.zw.emb-japan.go.jp/files/000306375.pdf>

●平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「マコンデ郡の教育機関における安全な水供給計画」の模様

リンク:<http://www.zw.emb-japan.go.jp/files/000305632.pdf>

プレスツアー後、当国各紙、テレビ、ラジオで上記引渡式の様子や岩藤大使へのインタビュー記事が報道されました。31日付ヘラルド紙が「日本は道路補修用資材に550万ドルを支援」と題し、日本のジンバブエへの二国間協力事業を紹介した他、様々なメディアがこの二日間の引渡式の模様を報道しています。今回のプレスツアーを通して、ジンバブエ国民の日本の開発協力事業への理解が一層深まることを期待しています。



日本がジンバブエに供与した道路補修資材のテープカット。



日本の支援で設置された深井戸に生徒が集まっています。(マコンデ郡テンデラ小学校にて)



深井戸前で関係者による写真撮影。(マコンデ郡テンデラ小学校にて)